

科目名 Course Name	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ Seminar of Social Work (Expert) III			ナンバリング No.	I4-006		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>ソーシャルワークの知識と技術について、実践的に習得するとともに専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>①ソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養うことができるようにする。</p> <p>②分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に述べるができるようにする。</p> <p>③ 地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に例証できるようにする。</p> <p>④ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に利用できるようにする。</p> <p>⑤ 実習を通じて体験した事例検討や事例研究を行い、その意義、方法を具体的に説明・記述できるようにする。</p> <p>⑥スーパービジョンを体験する。</p>						
授業の方法	テーマに応じた小講義後、個人ワーク、グループワーク(ロールプレイング等)等により授業を展開する。演習後には小レポートやディスカッションで振り返りを行う。						
学習成果	L01	専門職としての基礎的な知識・態度を身につけることができる。					
	L02	自分や社会への理解を深め、実践に応用するスキルを身につけることができる。					
	L03	事例検討・事例研究において、総合的・包括的に捉えることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後の振り返りシートにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:「学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習」ソーシャルワーク演習研究会/ミネルヴァ書房						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求められることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	1回3点とし、毎回評価する。授業の準備を整え、遅刻せず出席していること。演習への積極的な参加。演習の目的を理解できていること。以上が達成されない場合には減点対象とする。	45			
レポート/作品 発表	毎回のワークシート及び振り返り、技術の定着度を評価する。		10	40	
小テスト	知識・技術確認のための小テストを行う。	5			
試験					
その他					
合計		50	10	40	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱのふりかえり
	事前・事後学習	事後:事前説明資料に目を通す。疑問点を挙げておく。
2	授業内容	包括的な相談支援① 自己覚知
	事前・事後学習	事前:自己覚知について説明できるようにしておく 事後:演習のふりかえりを行い、次回持参する
3	授業内容	包括的な相談支援② インテーク面接とアセスメント
	事前・事後学習	事前:自分の家族について聞き取り、調べておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
4	授業内容	包括的な相談支援③ ストレングスモデル
	事前・事後学習	事前:ストレングスについて調べ例証できるようにしておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
5	授業内容	包括的な相談支援④ 面接技術
	事前・事後学習	事前:面接の留意点、傾聴の姿勢について確認しておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
6	授業内容	包括的な相談支援⑤ プランニング「プランニングの実際を学ぶ」 外部講師:大山裕明氏(佐野市教育委員会 SSW)
	事前・事後学習	事前:スクールソーシャルワーカーの仕事について確認しておく 事後:感想レポートの作成
7	授業内容	包括的な相談支援⑥ ケースカンファレンス
	事前・事後学習	事前:ケースカンファレンスの効果について確認しておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
8	授業内容	包括的な相談支援 ⑦ ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発
	事前・事後学習	事前:独居高齢者を支える社会資源の種類を調べておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
9	授業内容	包括的な相談支援 ⑧ モニタリング、アフターケア、サービスの評価
	事前・事後学習	事前:評価項目について事前配布資料を確認しておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
10	授業内容	災害時に対する支援①【演習:グループワーク】ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング
	事前・事後学習	事前:災害時の支援プロセスを確認しておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
11	授業内容	災害時に対する支援②【演習:ロールプレーイング】支援の実施 プレゼンテーション
	事前・事後学習	事前:災害ソーシャルワークの展開について説明できるようにしておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
12	授業内容	災害時に対する支援③【演習:グループワーク】モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケア
	事前・事後学習	小テスト対策
13	授業内容	終末期ケアに対する支援①【演習:グループワーク】、小テスト
	事前・事後学習	事前:終末期ケアにかかわる事前配布事例を読んでおく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
14	授業内容	終末期ケアに対する支援②【演習:ロールプレーイング】支援の実施 ソーシャルアクション
	事前・事後学習	事前:ソーシャルアクションのプロセスを確認しておく 事後:資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
15	授業内容	その他の危機的状態にある事例(精神障害)【演習:グループワーク】
	事前・事後学習	これまでの演習を振り返り、まとめを行う